

報道関係者各位

令和4年（2022年）11月14日

近畿大学附属和歌山高等学校・中学校

## “いのちの講演家” 岩崎順子氏による人権教育講演会を実施 中学生が「いのちの大切さ」を学ぶ

近畿大学附属和歌山中学校（和歌山県和歌山市）は、令和4年（2022年）11月21日（月）、全校生徒を対象に、「いのちのメッセージ～受け継がれるいのち～」をテーマとした人権教育講演会を実施します。今回は、“いのちの講演家”として全国で1,000回以上の講演をしている岩崎順子氏をお迎えします。



令和元年（2019年）人権教育講演会の様子

### 1. 本件のポイント

- 生徒の人権・道徳意識を育むことを目的として、人権教育講演会を開催
- “いのちの講演家”として、人権・子ども・親子などのテーマで講演活動を行っている岩崎順子氏を招聘
- 生徒は、あらためて自分を見つめなおし、かけがえのない「いのちの大切さ」を学ぶ

# 取材のご案内

## 2. 本件の内容

本校では、生徒の人権・道徳意識を育むことを目的として、毎年人権教育講演会を実施しています。文部科学省が掲げる人権教育の指針に基づき、「いのちの大切さ」について学び、理解を深めます。コロナ禍のため、3年ぶりの実施となる今回は、全国で1,000回以上の講演を行う“いのちの講演家”岩崎順子氏をお招きし、「いのちのメッセージ～受け継がれるいのち～」というテーマで、自身の経験をもとに人権・子供・親子などについて、さまざまな視点からいのちと向き合うお話をさせていただきます。

コロナ禍により、学校生活や生徒自身をとりまく環境にも変化があったことから、あらためて自分を見つめなおし、周りの人のことを考え、思いやる機会として、今を大切に生きること、人として互いに尊重し合うこと、かけがえのない「いのちの大切さ」について学ぶことを目的とします。

## 3. 実施概要

日 時：令和4年（2022年）11月21日（月）14:30～15:20

場 所：近畿大学附属和歌山中学校 体育館

（和歌山市善明寺516、JR阪和線「和歌山駅」から和歌山バスで約15分「近畿大学附属和歌山校前」下車すぐ）

対 象：近畿大学附属和歌山中学校 全生徒554人

講 師：岩崎 順子 氏

演 題：「いのちのメッセージ ～受け継がれるいのち～」

## 4. 講師プロフィール



岩崎 順子（いわさき じゅんこ）氏

和歌山県海南市生まれ

いのちの講演や体験談が心の深いところに届くと感動を呼び、日本全国での講演は1,000回を超える。人権、子ども、親子、高齢者、生と死、生きる力、認知症、グリーフケア、災害、戦争などを言葉で明るく和やかに講演。参加者の方々とのご縁を大切に響き合える時間を作る。

主な著書：『ガンが病気じゃなくなったとき』（青海社）

## 5. 本資料の配布先

和歌山県政記者クラブ、和歌山地方記者室、和歌山県政放送記者クラブ

### 【本件に関するお問合せ先】

近畿大学附属和歌山高等学校・中学校事務室 担当：渡瀬、松岡

## 取材のご案内

TEL : 073-452-1161 FAX : 073-451-0394

E-mail : wakayamajimu2@itp.kindai.ac.jp